

Panasonic
i-PRO ネットワークカメラ
WV-SFV631LT
V4.80 版 リリースノート

目次

[変更履歴](#)
[ダウンロードファイルについて](#)

変更履歴

Ver V4.80ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 解像度変更、撮像モード変更を繰り返し実施すると、稀に黒画になることがある現象の改善

Ver V4.70ES

<機能追加>

- 生産工場でプリインストールされる電子証明書を「DigiCert 社」から「Global Sign 社」へ変更。本バージョンアップのみでは変更されません。セキュア通信を実施されている場合の影響などの詳細については、[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- HTTP アラーム通知機能の以下の内容の改善
 - ・Digest 認証対応
ID/PW 無しで初回アクセスし、サーバーからの応答を元に Digest/Basic のいずれかで認証する。
 - ・サーバーとのユーザー認証失敗時のシステムログ追加
認証エラー時、「<HTTP アラーム通知> 認証エラー」のシステムログを表示する。
 - ・HTTPS での送信機能
通知先に、“https://”を設定した場合、HTTPS のサーバーと判断し HTTPS でのアクセスを実施する。
- 接続方法を HTTP から HTTPS への変更する際、1 クライアントあたりのビットレートが 4096kbps を超えて設定されていた場合に、HTTPS 通信における総配信量 16Mbps 制限を考慮して自動的に 4096kbps へ変更する動作から、ビットレート設定を変えずに運用環境に応じたストリーム配信ができるよう改善。併せて、接続方法の設定画面に HTTPS 接続の総配信量 16Mbps 制限に関する注記を追加。(2021/10 記載内容一部修正)

Ver V4.30ES

(V4.00 より古いバージョンからのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- ライブ画表示の際に、稀に画像が黒くなってしまうことがある現象の改善
- Windows10 における、HTTPS 接続における再接続時の応答改善
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) 内に記載されている旧社名を新社名に変更

Ver V4.10ES

(本バージョンへのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- 2 つのセッションを同時に接続した際に、片方の認証が通らずに、音声聞こえなくなる現象の改善

- セキュリティ強化を実施
- DDNS 設定画面の「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携なし)」「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携)」に注記文言を記載
- バージョンアップ画面に オープンソースソフトウェア(OSS)のライセンスを表示
- SD メモリーカードの上書き録画中にログリストを開き、参照するとファイルが見つからないことがある現象の改善

Ver V4.00ES

<改善項目>

- FTP 定期送信エラー時の保存先が変更できない現象の改善
- 「ネットワーク」設定の「HTTP の最大セグメントサイズ」の設定で以下の機能を連動するように改善
 - ・HTTP アラーム
 - ・みえますねっと(アクセステスト)
 - ・みえますねっと(通知)
- セキュリティ対策の強化を実施
- サポートページ URL の変更 (http→https)に伴うリンク先変更
- 録画データをログリストからダウンロードする際に、当該時刻の 1 つ前のログの録画データがダウンロードされることがある現象の改善
- SD カードへの JPEG 上書き録画中に削除不可能なファイルができた際に、カメラ再起動してしまうことがある現象の改善
- ログリスト画面での SD カードデータ削除時、再生画面を表示中に削除できないデータが残ることがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーNX シリーズとの接続時、稀に通信エラーが発生する現象の改善
- overRTSP 接続でネットワークが切断された後、2 分以内に配信方式 (~~H.265/H.265~~) (H.264/H.265) の設定変更、解像度の変更を実施すると、変更完了前のストリームが配信されてしまうことがある現象の改善
(記載誤りのため修正 2023/6/8)
- ネットワークディスクレコーダーでシーケンス運用時、映像を出力するまでに時間がかかり、黒画になってしまうことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーもしくは映像監視ソフトウェア(WV-ASM300 など)をシーケンス動作させた場合にカメラが再起動することがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーで SD メモリーバックアップされたデータをダウンロードすると、カメラが再起動することがある現象の改善
- セキュリティ強化に伴い、設定データの暗号化方式を変更
※Ver4.00 以降でバックアップした設定データを、Ver4.00 より前のバージョンで動作するカメラにリストアすることはできません。変更内容は[こちら](#)から「チラシ:新機能および補足説明について」を参照ください。

Ver V2.70ES

<改善項目>

- 映像配信(JPEG)を 1 年以上連続運用していた場合に、フレームレートが低下する可能性がある現象の改善

Ver V2.60ES

<改善項目>

- 工場出荷状態の初期のパスワード認証方式を「Digest or Basic」から「Digest」に変更
- 工場出荷状態の初期のパスワードの使用文字種を「英字/数字/記号」のうち 2 種以上を選択する仕様から「英字大文字/英字小文字/数字/記号」のうち 3 種以上を選択する仕様に変更
(変更に関するお知らせは[こちら](#))
- ホスト認証にユーザー認証機能を追加
- システムログにログイン失敗した履歴を表示
- 設定データを暗号化して保存するように変更
※ファームウェアを以前のバージョンに戻した場合、設定データがリストアできなくなりますのでご注意ください。
- その他セキュリティ対策を強化 (2018/10/22 記載内容一部変更)
- プラグインソフトウェアに、[描画方式]、[デコード方式]、[ライブ画フレームスキップ表示(PC 高負荷時)]を追加
- 配信量制御(ビットレート)の初期値を以下に変更
変更前:制限なし
変更後:51200kbps

Ver V2.58ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 独自アラーム通知のアラーム種別に以下を追加
 - SD カード Write エラー
 - SD カード Read エラー
 - SD カード ファイル削除エラー
 - SD カード ファイルシステムエラー
 - SD カード その他エラー
- 配信方式で「マルチキャスト」選択時、RTSP 配信はユニキャストのみだったが、その制約を廃止
- みえますねっとポータル画面のライブ画像が、「Google Chrome 64.0 for Windows」で表示できなくなる現象の改善 (2018/3/26 一部表現を変更)
- 管理者パスワードが削除されることがある現象の改善

Ver V2.56ES

<改善項目>

- ActiveX 内の旧社名を新社名に変更
- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更

Ver V2.54ES

<改善項目>

- H.264 の配信モードを変更すると、意図せずリフレッシュ間隔が 8 秒に変更されることがある現象の改善
- NTP サーバーとの時刻補正において、5 秒以内のずれでは補正されないことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダ WJ-NX400 の RTSP モード配信時に、連続運用中に配信が停止することがある現象の改善 (2017 年 5 月 記載漏れのため追記)

Ver V2.52ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施

Ver V2.50ES

<機能追加>

- [配信量制御(ビットレート)]の選択に以下の内容を追加
10240 kbps/15360 kbps/20480 kbps/25600 kbps/30720 kbps/35840 kbps/40960 kbps/51200 kbps
- [スマートコーディングモード]に[On(Mid)]、[On(High)]を追加

<改善項目>

- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更
- NTP の仕様を一部改善(ご使用については影響ございません)
- 設定画面のテキスト文字入力欄に「</script>」を入力すると、レイアウトが崩れることがある現象の改善
- 「配信量制御」を「1 クライアントあたりのビットレート」以下に設定しようとする、設定確認のアラート画面が表示される仕様だが、H.264(2)~H.264(4)の「1 クライアントあたりのビットレート」のチェック処理が抜けていた点を修正
- スマートコーディングの設定を On にし、H.264 ストリームを、SD 録画のストリームに設定すると、スマートコーディングが強制的に Off になり、リフレッシュ間隔の設定が本来 1s に戻るべきだが、内部的にリフレッシュ間隔が 8s のままとなる。その結果 SD 録画した H.264 が異常データとなることがある現象の改善
- H.264 ストリームの接続/切断を繰り返すと、カメラが再起動することがある現象の改善

Ver V2.43ES

<改善項目>

- プリインストール証明書を使用し、接続方法を「HTTPS」に設定したあと電源 Off/On すると接続方法が「HTTP」に戻る現象の改善
- Ver.2.00 以降へ Ver.1.71 以前の設定値をリストアできないことがある現象の改善

Ver V2.41ES

<改善項目>

- 稀に起動に時間がかかることがある現象の改善

Ver V2.40ES

<機能追加>

- HTTPSを使用する際に必要となる証明書の選択機能追加
- 改ざん検出を使用する際に必要となる証明書の選択機能追加
※上記2点の証明書の機能追加については、2016年4月生産分以降(シリアル番号 PDxxxxxx 以降)で本機能をご使用いただけます。(1桁目がP,Q,R***以降、および1桁目がPの場合2桁目がD,E,F,***以降)

<改善項目>

- ユーザー認証の初期値を「Off」から「On」に変更
- ユーザー名、パスワードの初期値「admin」「12345」を削除し、入力条件を「4～32文字」から「8～32文字(英数字の混在必須)」に変更
※すでに設定済の機器をバージョンアップしても従来のユーザー名、パスワードは削除されません。設定画面や初期化ボタンで初期化すると改めて設定が必要になりますのでご注意ください。
- 機能拡張ソフトの「顔ベストショット」機能使用時に、バッファに本来除去されるはずのノイズが蓄積され「顔ベストショット」が送信されなくなる(顔照合システムで失報が発生する)と同時にメタデータが送信され続けることがある現象の改善(2016/6/10 記載漏れのため追記)

Ver V2.02ES

<機能追加>

- [みえますねっとPRO]を統合後の新「みえますねっと」に対応
※2016年2月の「みえますねっと」サービスリニューアルに伴い、「みえますねっとPro」ご利用のお客様は、サービス終了する2016年6月30日まで、そのままバージョンアップするとDDNSサービスが停止しますのでご注意ください。

<改善項目>

- VMD画面、音検知画面表示中は、アラーム通知が行われないことを、それぞれの画面へ説明文追加

Ver V2.00ES

(本バージョンへのバージョンアップには、中間ファームウェア V9.99 による2段階のバージョンアップが必要です。詳細は[こちら](#))

V2.00以降のバージョンでバックアップした設定データをV2.00より古いバージョンにリストアすることはできません。あらかじめ、リストアするカメラのファームウェアをV2.00以降にバージョンアップしてリストアしてください。(2016年10月 記載漏れ追記)

<機能追加>

- [スマートコーディングモード]機能を追加
- ファームウェアのセキュリティ対応
- 設定画面の Safari/Firefox/Google Chrome 条件付対応。検証バージョンは以下です。
 - ・Safari: v5.34.57
 - ・Google Chrome: v44.0.2403
 - ・Firefox: v39.0.0制限事項については[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- 機能拡張ソフトの iVMD 機能の設定の上限値を変更
[変更前] 100%,150%,200%,250%,300%
[変更後] 100%,150%,200%,250%,300%,350%,400%,450%,500%,制限なし
- ユーザー設定画面でユーザ管理画面、メンテナンス画面の画面レイアウトが崩れることがある現象の改善

Ver V1.87E

<機能追加>

- ビジネスインテリジェント拡張キット WJ-NVF30JW に対応

<改善項目>

- WJ-ND400Kと連携したJPEGのSDバックアップ機能において、記録の切り替わりタイミング(SDカードへの保存終了タイミング)で画像が抜けることがある現象を改善
- 画質改善を実施
 1. 解像感改善
 2. S/Nを改善
 3. H.264の画質改善
- 時刻補正方式を、手動→NTPに切り替えたあとに「タイムゾーン」を設定すると、同期時にタイムゾーンが正しく反映されないことがある現象の改善
- 白黒映像状態でオートフォーカスを実施し、その後、設定データをバックアップすると、リストアできない現象を改善
- ライブ画面内文字に「ガ」「パ」などの濁点・半濁点を含むカナ文字を8文字以上入力すると、エラー(500エラー、もしくは、403エラー)になることがある現象の改善

Ver V1.85E

<改善項目>

- カメラのSDメモリーカードに保存されたMP4データをWV-ASM200でダウンロードする際の改善(ASM200のバージョンアップも必要です)
- 稀に再起動することがある現象の改善
- IR LEDを使用時、かつ、「スーパーダイナミック」が有効時、「白とび補正」の設定は無効(グレーアウト)であるにもかかわらず、内部保持している「白とび補正」の設定値に応じて、映像が変化してしまう現象の改善

Ver V1.84E

<改善項目>

- SDメモリーカードの異常発生時にカメラがエラー応答をしないため、録画サーバーシステム「ArgosView」がJPEGのバックアップ録画機能使用時に異常から復帰できなくなることがある現象の改善
※SDメモリーカード異常時に、エラー応答をするように改善しました
- ASM200(V3.30)からのMP4ファイルダウンロードにて、ダウンロード対象ファイルがSDカード1、SDカード2にまたがって存在すると、ダウンロードに失敗することがある現象の改善

Ver V1.83E

<改善項目>

- 最大ファイルサイズ20MB設定でSDメモリーカードへ録画したH.264録画ファイルをPCソフトウェアパッケージWV-ASM200からダウンロードする機能に対応。(WV-ASM200のV3.30以降へのバージョンアップも必要です)
- 映像配信停止が発生した場合に、再起動させることで停止の状態を復旧させる改善を実施
- CSVファイルのダウンロード中にPC側LANケーブルを抜き差しすると、HTTPアクセスを受け付けなくなることがある現象を改善
- VMD検出精度の改善(VMD感度を調整されているご使用環境では、VMD検出数が変化する場合がありますのであらかじめご了承ください)(2015/5/14 記載漏れ追記)

Ver V1.82E

<改善項目>

- V1.71以前でバックアップしたカメラの設定値をV1.80にリストアすると再起動することがある現象の改善

Ver V1.80E

<機能追加>

- SD カードの運用情報/エラー情報を設定画面に表示(※SD カードの品番は、SD カード内のメモリーの保存された品番を表示します。
※稼働時間は、リアルタイムに更新されません。1 時間に 1 回更新されます。)
- SD メモリーカードの警告出力をアラーム端子から出力する機能を追加
- アラーム端子入力(端子 1)による時刻補正機能に対応
- 「音声圧縮方式」に「AAC-LC(高音質)」を追加
- SD カード記録時の JPEG 画像の拡張領域へ付加情報を重畳するように仕様変更
- SD カード記録時の MP4 ファイルに付加情報を重畳するように変更
- Safari/Firefox/Google ChromeでのH.264/JPEG表示に対応([制限事項についての詳細はこちら](#))
- 「バージョンアップ」タブ内に、機能拡張ソフトウェアのインストール画面へのリンクを追加

<改善項目>

- Internet Explorer 互換性表示 OFF 時の画面表示を改善
- H.264 の配信モードを「アドバンスド可変ビットレート」設定時、ストリーム配信における画質が徐々によくなる点を初めからよい画質で配信できるように改善
- ASF900 における顔ベストショットの顔照合機能のための画像選別処理の改善
- iVMD(WV-SAE200)インストール済み、かつ、動作検知アラーム種別が VMD の場合、ライブ画のアラームアイコン表示が i-VMD 時の表示となってしまうことがある現象の改善
- ライブ画の日付、時刻表示が一部乱れて表示することがある現象の改善
- 音声圧縮方式を「AAC-LC」に設定した後、音検知設定画面に遷移すると、『「ユニキャストポート番号 2(音声)」に指定した番号は使用中です。ポート番号を変更してください。』という誤ったアラート表示が出る現象の改善
- 他品番のカメラでフォーマットした SD カードをライトプロテクト状態で挿入した場合にメンテナンス画面-システムログタブが数分間開けなくなることがある現象を改善
- 機能拡張ソフトウェア「SAEASF(顔ベストショットアプリ)」をインストールし有効化すると、iVMD 設定が有効になる現象の改善

Ver V1.71E

<機能追加>

- [AGC(音声)]設定を追加
- [日時&画面内文字]の表示設定の拡張
- [コントラスト強調表示(RGB:0-255)]機能を追加
- JPEG の 1shot 取得時、JPEG の拡張領域に iVMD 情報を重畳するように仕様変更
- SD カード録画時の JPEG の拡張領域への iVMD 情報を重畳するように仕様変更[NDR バックアップ(ND200, ND300, ND400K)、FTP 定期失敗時のみ]
- 画像の付加情報に端子アラーム検知状態を追加(※H.264/JPEG 共通)
- [プライバシーゾーン]の[表示形式]機能(モザイク表示)を追加
- SD 録画状態、音声情報の付加情報に対応

<改善項目>

- プラグインソフトの改善
 - ・描画遅延が蓄積しないように改善
 - ・スクロール時の画崩れ改善
 - ・上記の改善に伴い、プラグインソフトウェアの容量が増加。(約 2MB→約 3.8MB)
- iVMD の検出精度改善
- 配信モードが可変ビットレート設定時の H.264 の画質を改善
- タイムゾーンを 2014 年 10 月の状態に更新
- カメラの負荷が高い状態の場合、PC からカメラへの音声送信(送話)を実施すると、エラーとなることがある現象を改善。(カメラから PC への音声受信(受話)を実施している場合、受話が聞こえなくなります。)
- H.264 の録画再生画面にて、スライドバーをドラッグし、全く移動させずにドロップ(離す)とブラウザ(Internet Explorer)が応答しなくなる現象を改善
- H.264 を RTSP 制御で配信している際、RTSP のポート番号を変更すると、以降 RTSP 制御で H.264 を配信できなくなる現象の改善
- PC からカメラへの音声送信(送話)の開始/停止を数多く実施すると、H.264/音声の配信ができなくなることがある現象の改善

Ver V1.58E

<改善項目>

- 生産工場での工程検査改善(お客様への操作、設定に関する影響はございません)

Ver V1.57E

<改善項目>

- overRTSP でのストリーム配信時に、設定変更による配信の接続・切断を繰り返すと、配信が停止したり、以降配信開始できなくなることがある現象の改善
- RTSP で接続中にレコーダなどの接続機器を再起動させて、ストリームの切断/接続を繰り返すと、映像配信ができなくなることがある現象の改善
- overRTSP で映像配信している際、3 クライアント以上が接続断(ケーブル抜け状態など)になると、約 5 分後にカメラが再起動することがある現象の改善

Ver V1.55E

<改善項目>

- スーパーダイナミック ON 時の逆光環境において、白黒画面への切換えレベルの改善
- スーパーダイナミック ON 時の逆光環境において、人の顔を明るく見えるように改善
- 明るい環境下における、低輝度部の解像感の改善
- その他、解像感の改善
- 顔ベストショットライセンス適用時の顔検出有効化

Ver V1.54E

<改善項目>

- 顔検出感度を「低」に設定すると、PCソフトウェアパッケージ(顔検索サーバー)WV-ASF900 への顔ベストショット(JPEG ファイル)が送信されないことがある現象の改善

Ver V1.53E

<改善項目>

- カメラを「使用温度範囲(-45°C~50°C)」の範囲で起動した後、外気を-45°C以下まで低下させ、その後外気を上げていくと、映像に横ラインのノイズが発生することがある現象を改善
- ASM200/ASM970 などとの接続において、カメラ映像を表示されるまでの時間の短縮化の改善
- overRTSP 接続にてカメラの映像を配信している際に、別ウィンドウでブラウザを開いて設定画面に入り H.264 の設定を変更する。この手順を繰り返すと overRTSP 接続ができなくなる現象の改善
- H.264 のネットワーク断検知録画を ND400 と接続して行っている際、1 つの録画データが分割されてしまうことがある現象の改善
- H.264 の配信において I フレームの強制挿入が繰り返されると(ASM200 や NV200、NV300 などでのシーケンス動作が該当)、画質が劣化する現象の改善(2015/1/19 記載内容一部修正)
- セキュリティ強化を実施(ActiveX 更新)

Ver V1.52E

<改善項目>

- SNMP にて取得できる「カテゴリ」の値が誤っていたものを修正

Ver V1.51E

- 初版

sfv631l_***E.zip、sfv631l_***ES.zip は WV-SFV631LT のファームウェアです。
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍(拡張子 bin または img に)してバージョンアップにご利用ください。
※バージョンアップの手順は、WV-SFV631LT の取扱説明書を、ご参照ください。